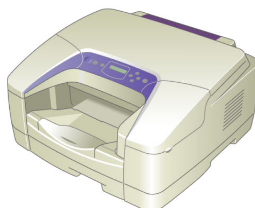
目的ヘルプ

Canon

ビジネスインクジェットプリンタ

Satera

BIJ1300



はじめに

このオンラインヘルプは、Mac OS 8.6 ～ OS 9.x 用プリンタドライバについて説明しています。

このヘルプの使いかた

このプリンタドライバのオンラインヘルプでは、目的ヘルプと項目ヘルプを用意しています。

- それぞれのヘルプは分類された見出しが順番に並んでいます。見出しをクリックすると、その説明が表示されます。
- 説明に続きがある場合は、ヘルプウィンドウ右下の[➔]をクリックすると、次のページが表示されます。
- ヘルプを閉じるには、ヘルプウィンドウ左上のクローズボックス[□]をクリックします。

商標、略称について

商標

Macintosh、Mac OS は米国 Apple 社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称

このヘルプでは以下の略称を使用しています。

GARO は Graphic Arts Language with Raster Operations の略称です。

「Mac OS 8.6 以降のバージョン」を Mac OS と表記しています。

プリンタドライバについて

プリンタドライバとは

プリンタドライバはアプリケーションソフトで作成した文書を印刷するときに必要なソフトウエアです。
印刷を行うためにプリンタドライバをオペレーティングシステムにインストールする必要があります。

メモ

プリンタによって印刷できるデータ形式が異なるために、プリンタに正しく対応したプリンタドライバをオペレーティングシステムにインストールする必要があります。

プリンタを設定する

文書を印刷するときに必要な用紙サイズや印刷方法、印刷品質など、プリンタの設定は、プリンタドライバのダイアログボックスを表示して行います。プリンタドライバのダイアログボックスを表示するには、アプリケーションの［ファイル］メニューから開きます。

用紙設定ダイアログボックスを開く

原稿サイズや印刷の向きを設定したり、ユーザー定義用紙を作成することができます。

プリントダイアログボックスを開く

印刷するページ範囲や部数、出力方法、カラー設定、デバイス設定などを設定することができます。

プリンタの設定を終了する

プリンタの設定を終了するには、プリントダイアログボックスの下にあるボタンを使います。

[プリント]ボタン

設定を変更した内容を適用して印刷を実行します。

[キャンセル]ボタン

変更した内容を無効にしてダイアログボックスを閉じます。

[プレビュー]ボタン

設定した内容の印刷イメージを画面に表示します。

[復帰]ボタン

すべての項目をダイアログボックスを開いた直後の設定に戻します。

印刷の手順

アプリケーションソフトから文書を印刷する基本的な手順を説明します。

1　[ファイル]メニューをクリックして[プリント](または[印刷])を選択します。

2　各パネルで必要な設定を行います。

3　[プリント]ボタンをクリックします。

プリントダイアログボックスの構成

- プリントダイアログボックスは、機能ごとに分類されたパネルが何枚かあります。
- ダイアログボックス上部にある[基本設定]と表示されたメニューをクリックして選択すると、各パネルを切り替えて表示できます。
- 各パネル上のボタンやポップアップメニューを使って設定内容を選択します。
- パネルの左側にあるプレビューの中の絵や文字は、ポップアップメニューから選択したり、ボタンやチェックボックスをクリックしたりすると、設定内容を反映して変わります。

用紙設定ダイアログボックスの構成

- 用紙設定ダイアログボックスには、[ページ属性]パネル、[用紙設計]パネル、[一覧]パネルがあります。
- ダイアログボックス上部にある[ページ属性]と表示されたメニューをクリックして選択すると、各パネルを切り替えて表示できます。
- 各パネル上のボタンやポップアップメニューを使って設定内容を選択します。
- パネル左側にあるプレビューの中の絵や文字は、選択した用紙設定値を反映して変わります。

用紙の設定

用紙の種類を選ぶ

［基本設定］パネルの［用紙の種類］メニューからは、次にあげるような種類の用紙を選択できます。

使用できる用紙の例

- 普通紙
- 高品位専用紙
- 高速乾燥 OHP フィルム
- はがき

これらの用紙は、プリンタの給紙方法に合わせてプリンタにセットしてください。用紙の用途、プリンタへのセットのしかたについては、「ユーザーズガイド」をご覧ください。

用紙の種類を変えて印刷するときは、次の点を確認してください。

- 用紙の種類によって選択可能な給紙方法が異なります。
- 用紙のサイズ、余白、印刷の向きをドライバやアプリケーションソフトで設定します。
- 用紙の種類によっては［印刷品質］の設定が限定されることがあります。
- セットした用紙に合わせて、［基本設定］パネルで［用紙の種類］と［給紙方法］を選択します。
- ［ページ設定］パネルで［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が正しい設定になっているか確認します。原寸（1：1）で印刷する場合は、［出力用紙サイズ］を［原稿サイズと同じ］に設定します。



- 用紙の保管や取り扱い、給紙に関する詳細は、用紙の包装箱または取り扱いシートに記載されている説明をご覧ください。

給紙方法を選ぶ

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　［基本設定］パネルで［用紙の種類］のメニューをクリックし、使用する用紙を選びます。

3　［給紙方法］をクリックして給紙方法を選びます。

4　［プリント］ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

メモ

- 用紙の種類や用紙のサイズによって選択可能な給紙方法は異なります。
- 給紙方法は、自動、カセット、フィーダ（手動）、フィーダがあります。
- ［給紙方法］の［自動］を選択して自動給紙を行うときは、プリンタの操作パネルを使って各給紙カセットにセットした用紙のサイズを設定しておく必要があります。ただし、［自動］を選択してカセット給紙ができるのは普通紙のみです。他のメディアは［自動］を選択してもフィーダから手差し給紙されます。操作パネルの使いかたについては「ユーザーズガイド」をご覧ください。
- カセット給紙には、標準カセット（カセット 1）だけでなくオプションカセットからの給紙があり、オプションの給紙カセットはカセット 2 とカセット 3 になります。



- [フィーダ]を選択すると、印刷指示後すぐに給紙されます。そのため[フィーダ]を選択する場合は、必ずあらかじめフィーダに用紙をセットしておいてください。
- [フィーダ(手動)]を選択すると、印刷指示後にプリンタがいったんオフラインになります。フィーダに用紙をセットした後、プリンタの[オンライン]キーを押すことで、給紙が開始されます。[フィーダ(手動)]を選択すると、プリンタを共有している場合に、他の印刷ジョブに割り込まれることなく印刷を行うことができます。

用紙サイズを設定する

1　用紙設定ダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[原稿サイズ]のメニューをクリックして印刷する原稿サイズを選びます。

3　[OK]ボタンをクリックして用紙設定ダイアログボックスを閉じます。

4　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

5　[ページ設定]パネルを表示します。

6　[出力用紙サイズ]のメニューをクリックして印刷に使用する用紙サイズを選びます。

7　[プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

注意

[出力用紙サイズ]では必ず実際にセットされている用紙と同じサイズを選んでください。

メモ

- 使用可能な用紙サイズの詳細は「ユーザーズガイド」をご覧ください。
- 標準用紙サイズに加え、独自のユーザ定義用紙を作成できます。定義した用紙サイズは、標準用紙サイズとともにメニューの中で選べるようになります。
- 用紙のサイズによって選択可能な給紙方法が異なります。

関連項目

ユーザ定義用紙の作成

ユーザ定義用紙の削除

用紙サイズを指定して拡大/縮小する

ユーザ定義用紙の作成

1　用紙設定ダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　［用紙設計］パネルを表示し、［ユーザ定義用紙名］に作成する用紙サイズの名称を入力します。

名称は、全角 8 文字（半角 16 文字）まで入力可能です。

この名称が左側の［サイズ一覧］と［ページ属性］パネルの［原稿サイズ］およびプリントダイアログボックスの［ページ設定］パネルの［出力用紙サイズ］のメニューに表示されます。

3　サイズの［単位］を選びクリックします。

原稿サイズや縦、横の単位表記がすべて選んだ単位になります。

［縦］、［横］に定義したい数値を入力します。

4　［追加］ボタンをクリックして、新しく定義したサイズを保存します。

5　［OK］ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ

ユーザ定義用紙は、最大 5 件まで定義することができます。

関連項目

ユーザ定義用紙の削除

ユーザ定義用紙の削除

1　用紙設定ダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[用紙設計]パネルを表示し、[サイズ一覧]で削除したいユーザ定義用紙の名称を選び、[削除]ボタンをクリックします。確認のメッセージが出たら、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

標準サイズ(左に赤丸が付いたサイズ)は削除することはできません。

3　[OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

関連項目

ユーザ定義用紙の作成

お気に入りの使いかた

お気に入りの選択

用紙への印刷や写真やカラー画像の印刷など、さまざまな印刷に対応するプリンタドライバの設定を保存しておくことができます。この保存設定を[お気に入り]と呼びます。お気に入りを使うと、メニューから選択するだけで、目的に応じた最適の印刷を簡単に行うことができます。あらかじめ用意されている[お気に入り]のほかに、最大 50 件まで登録することができます。

お気に入りを選択する

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　いずれかのパネルで[お気に入り]のメニューをクリックし、使いたい[お気に入り]の項目を選びます。

　選んだお気に入りに登録されている内容がダイアログボックスの各項目に設定されます。

3　[プリント]ボタンをクリックすると印刷が始まります。

関連項目

お気に入りの追加

お気に入りの削除

お気に入りの編集

お気に入りの追加

お気に入りを追加します。最大 50 件まで登録できます。

お気に入りを追加し登録する

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　必要な印刷設定([印刷品質]、[カラーモード]など)を選択します。

3　設定が終了したら、[お気に入り]のメニューの[お気に入りの追加]を選択し、[お気に入りの追加]ダイアログボックスを開きます。

4　名称を入力します。

名称は、全角 15 文字(半角 31 文字)まで入力可能です。この名称が[お気に入り]のメニューに表示されます。

5　[コメント]の中に、印刷設定の内容がわかるような説明を入力します。コメントは、全角 127 文字(半角 255 文字)まで入力可能です。

6　[OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

関連項目

お気に入りの選択

お気に入りの削除

お気に入りの編集

お気に入りの削除

必要なくなったお気に入りを削除します。

お気に入りは最大 50 件まで登録できます。この制限を越えたら不要なものを削除する必要があります。

あらかじめ用意されている左に赤丸が付いた[お気に入り]の項目は削除できません。ユーザが登録した赤丸の付いていないお気に入りのみが削除できます。

1 プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2 [お気に入り]のメニューの[お気に入りの編集]を選択し、[お気に入りの編集]ダイアログボックスを開きます。

3 [お気に入り一覧]から、削除したい[お気に入り]の項目を選び、クリックします。

4 [コメント]の記述を読んで、削除してもよいお気に入りであるかを確認します。

5 [削除]ボタンをクリックします。

6 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックして[お気に入り]を削除します。

7 [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

関連項目

お気に入りの選択

お気に入りの追加

お気に入りの編集

お気に入りの編集

追加したお気に入りの名称、コメントを変更できます。また、お気に入りをファイルとして保存することができます。ファイルとして保存したお気に入りは、別のコンピュータで読み込んで使うことができます。

- ［お気に入り］の項目の中であらかじめ用意されている左に赤丸が付いた［お気に入り］の項目は編集できません。ユーザが登録した赤丸の付いていないお気に入りのみが編集できます。
- ここで作成したお気に入りは他のプリンタでは使用できません。また、古いバージョンで作成したお気に入りをこのプリンタドライバとともに使用することはできません。
- 別のコンピュータで使用するには、お気に入りのファイルを保存する必要があります。

お気に入りを編集する

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　［お気に入り］のメニューの［お気に入りの編集］を選択し、［お気に入りの編集］ダイアログボックスを開きます。

3　［お気に入り一覧］から、編集したい［お気に入り］の項目を選びクリックします。

4　［コメント］の記述を読んで、編集するのに適切なお気に入りであるかを確認します。

5　必要に応じて［名称］や［コメント］を編集します。



6 ⬚、⬚（入れ替え）ボタンで［お気に入り］の表示順を指定します。以降、プリンタダイアログを開くと、先頭に置いたお気に入りの設定が表示されます。

7 ［OK］ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

お気に入りを保存する

1 プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2 ［お気に入り］のメニューの［お気に入りの編集］を選択し、［お気に入りの編集］ダイアログボックスを開きます。

3 ［お気に入り一覧］から、保存したい［お気に入り］の項目を選びクリックします。

4 ［ファイル保存］をクリックして［保存］ダイアログボックスを開きます。

5 お気に入りを保存したいフォルダを選び、［名前］にファイル名を入力して［保存］ボタンをクリックします。

6 ［OK］ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

お気に入りを読み込む

1 プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2 ［お気に入り］のメニューの［お気に入りの編集］を選択し、［お気に入りの編集］ダイアログボックスを開きます。



3　[ファイル読み込み]ボタンをクリックしてファイルを開くためのダイアログボックスを開きます。

4　読み込みたいお気に入りのファイル名を選び、[開く]ボタンをクリックします。

5　読み込まれたお気に入りの名称が、[お気に入り一覧]に表示されます。

6　[OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ

旧バージョンのドライバで保存したファイルを読み込んでも正しく反映されないことがあります。

関連項目

お気に入りの選択

お気に入りの追加

お気に入りの削除

印刷品質を設定する

印刷品質の選択

印刷するデータに合わせ、画質の鮮明さと印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[基本設定]パネルを表示し、[印刷品質]から設定を選びます。

きれい

プレゼンテーション資料など、グラフィックスを多く含むデータを美しく印刷します。[標準]よりも印刷時間が長くかかります。

標準

一般的なビジネス文書など、文字中心のデータに適しています。[きれい]よりも速く印刷されます。

ユーザ設定

印刷品質のカスタマイズを参照してください。

メモ

選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

3　[プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

印刷品質のカスタマイズ

印刷品質の内容を自分で設定することができます。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[基本設定]パネルを表示します。

3　[印刷品質]のメニューをクリックして[ユーザ設定]を選び、[設定]ボタンをクリックして[ユーザ設定]ダイアログボックスを開きます。

4　[印刷品質]のメニューをクリックして、設定を選びます。[印刷品質]で選択した設定によって、[解像度]は自動的に選択され、[中間調]は設定できる内容が変わります。

5　[中間調]のメニューをクリックして、中間調の処理のしかたを選びます。

6　[OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

7　[プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

メモ

選択した用紙の種類によって、[ユーザ設定]ダイアログボックスの[印刷品質]、[解像度]、[中間調]で選択できる設定が変わります。

色調を補正する

カラーマッチング

カラーマッチングのために ICC、ColorSync の RGB カラープロファイルを利用できます。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[基本設定]パネルを表示します。

3　[カラーモード]で[カラー]を選び、[設定]ボタンをクリックして[色設定]ダイアログボックスを開きます。

メモ

[マッチング]シートが表示されていないときは[キャンセル]ボタンをクリックします。[カラーモード]で[カラー]が選択されていることを確認して[設定]ボタンをクリックします。

4　[マッチング]シートを表示し、[マッチングモード]のメニューをクリックしてマッチングモードを選びます。

ドライバ補正モード

ドライバ独自のカラーマッチングを行います。

ICC 補正モード

ColorGearLite を使用して設定された入出力プロファイルによるマッチングを行います。



ColorSync モード

Mac OS に用意されている CMM を使用してカラーマッチングを行います。システムプロファイルとして設定されているプロファイルが入力プロファイルとして使用されます。プリンタプロファイルのみが選択可能です。

補正しない

カラーマッチングを実行しません。アプリケーションでマッチングを実行する場合にこれを選択します。

5 [入力プロファイル設定]の[イメージ]で[入力プロファイル]のメニューをクリックし、入力プロファイルを選びます。

[すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]にチェックマークが付いているときは、[グラフィックス]、[テキスト]にも自動的に同じ入力プロファイルが設定されます。[グラフィックス]、[テキスト]に対して、それぞれに異なる入力プロファイルを設定したいときは、[すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]のチェックマークをはずしてから、設定します。



6　入力プロファイルの[マッチング方法]のメニューをクリックし、設定を選びます。

[マッチング方法]は、選択した[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

自動

[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]のそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。この項目は[ドライバ補正モード]でのみ設定できます。

色み優先

色合いを優先してカラーマッチングを行います。

鮮やかさ優先

鮮やかさを優先してカラーマッチングを行います。

色差最小

プリンタの色再現範囲内で、測定上の色差が小さくなるようにします。

色差最小(白色点補正なし)

カラーマッチング処理は色差最小と同じですが、白色点補正はしません。この項目は[ドライバ補正モード]では設定できません。

7　[プリンタプロファイル設定]のメニューをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

8　[OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

9　[プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。



メモ

- 選んだ［マッチングモード］によって、設定できる項目が変わります。
- ［ドライバ補正モード］を選ぶと、［マッチング方法］だけを選ぶことができます。
- ［ICC 補正モード］を選ぶと、［マッチング方法］を［イメージ］、［グラフィックス］、［テキスト］に対して別々に設定できます。また、［すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する］にチェックマークを付けると、ひとつのプロファイルを［イメージ］、［グラフィックス］、［テキスト］すべてに適用できます。
- 図形の色味を鮮やかに印刷したい場合は、［図形の色を鮮やかに印刷する］を選択します。［図形の色を鮮やかに印刷する］は、［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］を選択した後、［マッチング方法］で［自動］を選んだ場合にのみ有効となります。
- 任意の入力プロファイル、プリンタプロファイルを［ColorSync プロファイル］フォルダに置くことによって、ドライバ UI からそのプロファイルを指定することができます。

関連項目

カラーを調整する

モノクロを調整する

カラーを調整する

カラーは、基本的にアプリケーションソフトで選択され調整されます。
ただし、印刷結果が希望する色調にならない場合は、プリンタドライバを使ってカラーを調整することもできます。

1 プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。
2 [基本設定]パネルを表示します。
3 [カラーモード]で[カラー]を選び、[設定]ボタンをクリックして[色設定]ダイアログボックスを開きます。
4 [調整]シートを表示し、[調整の対象]ボタンをクリックして[調整の対象]ダイアログボックスを開きます。
5 [イメージ][グラフィックス][テキスト]の中から、調整したい要素をクリックしてチェックマークを付けます。
6 [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。
7 調整領域の周囲にある各色のボタンをクリックすると、クリックした色を 1 段階ずつ強くすることができます。また、調整領域内の希望する色をクリックしたり、中央にあるプレビューボタンを目的の位置までドラッグさせて調整することもできます。

   [調整後の位置]の座標で、調整後のプレビューボタンがどの位置にあるかを確認することができます。
8 [明るさ]のスライドバーを左右にドラッグして調整します。
9 [コントラスト]のスライドバーを左右にドラッグして調整します。
10 [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。
11 [プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。



メモ

シート上の各項目の設定を変更すると、左側の[調整後の画像]のイメージが変化します。[元の画像]は初期設定の状態を示し、[調整後の画像]は現在の設定を反映しています。

関連項目

カラーマッチング

モノクロを調整する

モノクロを調整する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだカラー写真または他のカラー画像を、モノクロで印刷するための設定をします。

1 プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2 [基本設定]パネルを表示します。

3 [カラーモード]で[モノクロ]を選び、[設定]ボタンをクリックして[色設定]ダイアログボックスを開きます。

4 [調整の対象]ボタンをクリックして[調整の対象]ダイアログボックスを開きます。

5 [イメージ][グラフィックス][テキスト]の中から、調整したい要素をクリックしてチェックマークを付けます。

6 [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

7 [明るさ]のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

8 [コントラスト]のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

9 [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

10 [プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

メモ

シート上の各項目の設定を変更すると、左側の[調整後の画像]のイメージが変化します。[元の画像]は初期設定の状態を示し、[調整後の画像]は現在の設定を反映しています。

ページ設定機能を使う

拡大/縮小印刷

拡大/縮小印刷には次の2つの方法があります。

倍率を指定して拡大/縮小する

拡大率または縮小率を数値で設定してページ上の画像を拡大または縮小します。

異なる用紙サイズに拡大/縮小する

元の原稿サイズより大きいまたは小さい出力用紙サイズを選ぶことでプリンタドライバが自動で画像のサイズを拡大または縮小します。

印刷の向きを選ぶ

画像の向きがどのように印刷されるかを選びます。

1　用紙設定ダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[ページ属性]パネルを表示し、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選びクリックします。

[印刷の向き]は、用紙の向きに関連して画像をどのように位置させて印刷するかを決めるものです。[縦]は紙送りの向きに画像をそのまま配置し、[横]は送り方向に270（-90）度回転して画像を配置します。

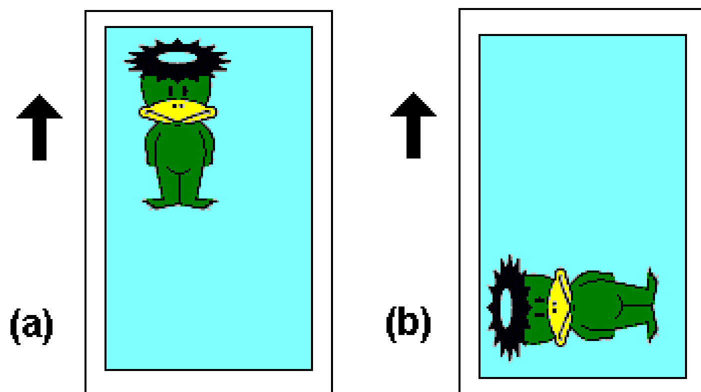
絵中の矢印は、印刷の方向を示しています。

3　[OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プリンタドライバでの[印刷の向き]の設定と印刷結果は次のようになります。

(a) **縦**　原稿が縦長のレイアウトのときに選択します。

(b) **横**　原稿が横長のレイアウトのときに選択します。



いろいろな機能を使う

鏡像印刷する

文書や画像を鏡に写したように左右を反転させて印刷します。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　［ページ加工］パネルを表示し、［鏡像］にチェックマークを付けます。

3　［プリント］ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

メモ

用紙送りの方向に対して左右が反転します。

180 度回転で印刷する

文書や画像を 180 度回転させて印刷します。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　［ページ加工］パネルを表示し、［180 度回転］にチェックマークを付けます。

3　［プリント］ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

スタンプを印刷する

特別な取り扱いをするために書類にスタンプを付けて印刷できます。各種のスタンプ（コピー禁止など）が標準で用意されています。

1 プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。
2 ［ページ加工］パネルを表示し、［スタンプ］をクリックしてチェックマークを付けます。
3 ［スタンプ］のメニューをクリックして、印刷したいスタンプを選びます。
選択したスタンプのイメージが左側のプレビューに表示されます。
4 ［プリント］ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

関連項目

自分のスタンプを作成する

自分のスタンプを編集/削除する

複数ページ文書の印刷の順番を設定する

複数ページで構成される文書の各ページの、印刷する順番を設定します。[部単位で印刷]と[逆順で印刷]を組み合わせると、複数ページの文書を 1 部ずつページを揃えて印刷することができます。

複数部数の印刷では、通常はページごとに指定された部数分ずつ(1,1,1…2,2,2…)印刷されますが、[部単位で印刷]を使うと、先頭ページから最終ページまで各部ごとに(1,2,3…1,2,3…)1 組にして印刷されます。

印刷された文書は、印刷面を上にして排紙トレイに積載されます。したがって、通常の印刷では 1 ページ目が一番下に、最終ページが一番上になります。これを 1 ページが一番上になるように排紙するのが[逆順で印刷]の機能です。

1 プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2 [基本設定]パネルを表示し、[部数]を設定してから[部単位で印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

  通常、ページごとに順番(1,1,1…2,2,2…) に複数部印刷しますが、[部単位で印刷]を使うと、複数部数の印刷におけるページは、(1,2,3…1,2,3…)の順番で部単位で 1 組にして印刷されます。

3 [逆順で印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

  [逆順で印刷]をクリックしてチェックマークを付けると、ページが逆順(…3,2,1…3,2,1) で印刷され、排紙トレイには先頭ページが一番上に最終ページが一番下になるように、ページ番号順で積載されます。

4 [プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

複数ページを 1 枚に印刷する

ページレイアウトを設定すると、複数ページを 1 枚にまとめて印刷して用紙を節約することができます。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[ページ設定]パネルを表示し、[ページレイアウト]のメニューをクリックして 1 枚に印刷したいページ数を選びます。

1 枚にレイアウトした印刷イメージがプレビューに表示されます。

3　[レイアウトの方向]のメニューをクリックして、ページの配列方向を設定します。

プレビューに印刷イメージが表示されます。

4　用紙内の各ページに境界線を入れて印刷したいときは、[枠線]のメニューをクリックして枠線の種類を選びます。

枠線を選ぶと、プレビューの印刷イメージに枠線が表示されます。

5　[プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

1 ページの文書を複数の用紙に拡大印刷する（ポスター印刷）

元の画像を拡大し、複数の用紙に分割して印刷した後、貼り合わせることによって、ポスターのように大きなサイズの印刷物を作ることができます。
大きさは 2×2（4 枚）、3×3（9 枚）、4×4（16 枚）の 3 種類あります。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。
2　［ページ設定］パネルを表示し、［ページレイアウト］のメニューをクリックしてポスター印刷のひとつ（例えば［ポスター２×２］）を選びます。
3　分割された画像（パネル）の一部を印刷しないときは、［出力ページの指定］で印刷しない画像のチェックボックスをクリックしてチェックマークをはずします。
　プレビュー内の印刷イメージでは、印刷するように選択したページは横罫が描かれ、印刷されないように選択したページは何も表示されません。
4　［プリント］ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

印刷時にプレビュー画面を表示する

印刷する前に、その結果のイメージを画面で確認することができます。

1 プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2 ［基本設定］パネルを表示し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

プレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認できます。

3 バックグラウンド印刷時は［プリント開始］ボタンを、フォアグラウンド印刷時は［このページをプリント］ボタンまたは［以降のページをプリント］ボタンをクリックすると印刷が始まります。

メモ

- バックグラウンド印刷とフォアグラウンド印刷の切り替えは、［付加設定］パネルの［バックグラウンドプリント］で行うことができます。
- ［プリント開始］ボタンをクリックすると、［基本設定］パネルの［ページ］で設定したページが印刷されます。
- ［このページをプリント］ボタンをクリックすると、プレビュー画面に表示中のページが印刷されます。
- ［以降のページをプリント］ボタンをクリックすると、プレビュー画面に表示中のページから最後のページまでが印刷されます。
- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、プレビュー画面とプリントダイアログボックスが閉じます。

印刷終了を通知する

印刷が終了したことを、音またはダイアログの表示で通知することができます。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[付加設定]パネルを表示して、[印刷終了の通知方法]の[ビープ音を鳴らす]または[ダイアログを表示する]にチェックマークを付けます。

3　[ビープ音を鳴らす]にチェックマークを付けた場合は、メニューをクリックして鳴らしたい音の種類を選びます。

4　[プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

プリントヘッドのキャリブレーションを行う

全体的に赤みが強かったり、グラデーションがきれいに印刷されないなど、思ったような色で印刷されない場合は、次の手順で調整を行います。
このとき必ず、あらかじめプリンタ本体のフィーダにハガキサイズ以上の用紙をセットしてください。

1　プリンタ本体の操作パネルで、[オンライン]キーを押してオンラインランプを消します。

2　[セットアップ]キーを押します。

3　[<]、[>]キーで[インジ　チョウセイ]を選択し、[V]キーを押します。

4　[<]、[>]キーで「キャリブレーション」を選択し、[V]キーを押します。

5　[<]、[>]キーで「パターン　インサツ」を選択し、[V]キーを押します。

6　フィーダにハガキサイズ以上の用紙をセットし、[実行]キーを押します。
　キャリブレーションパターンが印刷されます。

7　「チョウセイチ　セッテイ」が表示された状態で、[V]キーを押します。

8　キャリブレーションパターンから最も色味がグレー色に見える番号を選び、[<]、[>]キーで番号を選択して、[実行]キーを押します。
　規定値の左に「＝」が表示され、調整値が設定されます。

9　[オンライン]キーを押して、オンラインランプを点灯し、プリンタ本体での設定を終了します。



10 プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

11 [デバイス設定]パネルを表示します。

12 [キャリブレーション]の[設定]ボタンをクリックし、ダイアログボックスを開きます。

13 [調整値取得]ボタンをクリックします。プリンタから情報が取得され、調整値が自動入力されます。

14 [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ

- プリンタドライバで調整値を取得しないと、プリンタ本体で設定した値が有効になりません。
- 必ずプリンタ本体で設定を行ってから、プリンタドライバで調整値を変更してください。

困ったときは

問題が起きたら

問題が起きたら次の中から状況に近いものを探して、クリックし対処法を見つけます。必要に応じてプリンタに付属の説明書も必ずご覧ください。

セレクタの出力先にプリンタ名が表示されない

「メモリが足りません」というメッセージが表示される

印刷が行われない

うまく印刷できない

きれいに印刷できない

給紙がうまくできない

印刷に時間がかかる

通信タイムアウトが発生する

セレクタの出力先にプリンタ名が表示されない

- ［セレクタ］を開き、ドライバリストで［GARO Printer Driver］のアイコンをクリックしてください。
- ネットワーク接続の場合は、セレクタの［AppleTalk］を［使用］に設定してください。
- ［出力先の選択］で接続したポート（［USB］または［AppleTalk］）を選択してください。
- 機器リストで本プリンタ名をクリックしてください。
- プリンタとMacintoshを正しく接続してください。
- プリンタの電源をオンにしてください。
- プリンタの［オンライン］キーを押してオンラインランプを点灯してください。
- プリンタドライバを再度インストールしてください。

「メモリが足りません」というメッセージが表示される

- ハードディスクの空き容量を確認してください。
- 複数のアプリケーションソフトを同時に使用している場合は、他のアプリケーションソフトを終了してください。
- 以下の手順でアプリケーションソフトのメモリサイズを増やしてください。

1 アプリケーションソフトのアイコンをクリックします。
2 [ファイル]メニューの[情報を見る]-[メモリ]を選択します。
3 [使用サイズ]を増やします。

- バックグラウンド印刷をオンにしている場合は、Printmonitor のメモリ不足です。以下の手順で Printmonitor のメモリサイズを増やしてください。

1 ハードディスクにインストールされている Printmonitor のアイコンをクリックします。
2 [ファイル]メニューの[情報を見る]-[メモリ]を選択します。
3 [使用サイズ]を増やします。

- 原稿に貼られているデータのファイルサイズを小さくすることも検討してみてください。

印刷が行われない

エラーメッセージを確認する

プリンタの操作パネルに表示されるエラーメッセージの内容を確認します。「ユーザーズガイド」をご覧のうえ、対処方法にしたがってください。

接続状態を確認する

お使いのプリンタに接続されているコンピュータやネットワークへの接続状態を確認します。

プリンタドライバが正常に動作していない

プリンタドライバが正常に動作しなくなり印刷ができなくなることがあります。プリンタドライバのアンインストールを行い、インストールし直してください。

印刷処理に時間がかかっている

- カラー写真のようにファイルサイズが大きなデータが原稿に含まれている場合は、印刷処理に時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 複雑な図形やカラー写真のようにファイルサイズが大きなデータが原稿に含まれている場合は、メモリ不足で時間がかかる場合があります。複数のアプリケーションソフトを同時に使用している場合は、他のアプリケーションソフトを終了してください。

用紙にうまくレイアウトされない

用紙の指定した位置に印刷できないときや、周囲が欠けて印刷されるときは、次の点を確認してください。

- 印刷できる範囲に印刷しているか確認します。

  アプリケーションソフトによっては、印刷できる範囲外でも文字や図形を入力できるものがあります。ただし、プリンタで印刷できる範囲外のものは印刷されません。

- プリントダイアログボックスで［ページ設定］パネルの［出力用紙サイズ］とプリンタにセットしている用紙サイズが同じか確認します。

  プリンタドライバの設定と実際に印刷する用紙サイズが異なると、正常に印刷できません。

  →用紙の種類を選ぶ

  →用紙サイズを設定する

- 用紙設定ダイアログボックスで［ページ属性］パネルの［倍率を指定］が設定されているか確認します。

  ［倍率を指定］が設定されていると、任意の倍率で拡大/縮小して印刷されます。用紙の大きさと倍率を再確認してください。

  →倍率を指定して拡大/縮小する



カラーで印刷されない

- プリントダイアログボックスの［基本設定］パネルの［カラーモード］で、［モノクロ］が選択されていないか確認します。

  ［モノクロ］が選択されているとカラーで印刷されません。

  →カラーを調整する

  →モノクロを調整する

- プリンタドライバの［お気に入り］で［モノクロ文書］が選択されていないか確認します。

  ［モノクロ文書］が選択されているとカラーモードがモノクロに設定されます。

  →お気に入りの選択

- アプリケーションでカラー/モノクロ印刷の指定ができるものは、モノクロが選択されていないか確認します。

きれいに印刷できない

プリンタドライバの[お気に入り]を印刷目的に合わせて変更する

[お気に入り]は印刷目的に合わせて選択します。例えば、明るく印刷したいときは[明るさ強調]を選びます。

→お気に入りの選択

[印刷品質]の設定を変更する

文字のシャープさやグラフィックス、写真の画質に満足できない場合は、プリントダイアログボックスの[基本設定]パネルの[印刷品質]を[きれい]に設定します。

→印刷品質の選択

グラフィックスや写真がきれいに印刷できない

- グラフィックス、写真の画質に満足できない場合は、用紙の種類を高品位専用紙に変え、プリンタドライバの設定を変更します。
- プリントダイアログボックスの[基本設定]パネルの[カラーモード]で[カラー]を選択し、[設定]ボタンをクリックして[マッチング]シートの[マッチング方法]で[色み優先]を選択します。

かすれて印刷される

プリンタのプリントヘッドが目づまりしている可能性があります。プリンタの操作パネルからプリントヘッドのクリーニングをしてください。



印刷画像が色むらになる

複雑なデータを印刷した場合、印字ヘッドが停止しながら印刷が行われ、印刷画像が色むらになる場合があります。

プリントダイアログボックスの[付加設定]パネルの[全ページ分の印刷データを一括でプリンタに送る]を選択して印刷を行うと、印刷データを全て作成後プリンタにデータを送信するため、上記現象が回避されます。

思ったような色で印刷されない

- 細線が途切れて点線状になったり、色味がくすんでしまったりする場合は、プリントダイアログボックスの[基本設定]パネルの[カラーモード]で[カラー]を選択し、[設定]ボタンを押して[色設定]ダイアログボックスを開きます。[マッチング]シートの[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択した後、[マッチング方法]で[自動]を選択し、[図形の色を鮮やかに印刷する]を選択します。
- 全体的に赤みが強かったり、グラデーションがきれいに印刷されないなど、思ったような色で印刷されない場合は、プリントヘッドのキャリブレーションを行います。

  →プリントヘッドのキャリブレーションを行う

給紙がうまくできない

用紙があるか確認する

プリンタ本体のカセットとフィーダを確認し、用紙がない場合は用紙を補給してください。

紙づまりがないか確認する

紙づまりが起きた場合、プリンタの操作パネルにメッセージが表示されます。「ユーザーズガイド」をご覧のうえ、つまった用紙を取り除いてください。

カセットを確認する

カセットが正しくセットされていないと、給紙できません。正しくセットし直してください。

フィーダからの給紙がうまくいかない

操作パネルにフィーダへ用紙をセットするようにメッセージが表示される場合は印刷待ちの状態になっています。用紙をフィーダにセットし、[オンライン]キーを押してください。

本プリンタが選択されていることを確認する

1 [セレクタ]を開き、ドライバリストで[GARO Printer Driver]のアイコンをクリックします。

2 [出力先の選択]で接続したポート([USB]または[AppleTalk])を選択します。

3 機器リストから本プリンタ名を選択します。

印刷に時間がかかる

印刷時間は印刷するデータの内容やプリンタドライバまたは使用するアプリケーションソフト(Word や Excel など)によって変わります。
印刷時間がかかる場合は、次の設定を変更してみてください。

[印刷品質]の設定を変更する

プリントダイアログボックスの[基本設定]パネルの[印刷品質]を[標準]に設定します。

→印刷品質の選択

アプリケーションソフトをバックグラウンドにする

Finder などを前面に表示して、印刷処理中のアプリケーションソフトを背面に表示します。

通信タイムアウトが発生する

複雑なデータを印刷した場合、プリンタに対してデータ送信がしばらく行われないため、プリンタで通信タイムアウトが発生する場合があります。
プリントダイアログボックスの[付加設定]パネルの[全ページ分の印刷データを一括でプリンタに送る]を選択して印刷を行うと、印刷データを全て作成後プリンタにデータを送信するため、上記現象が回避されます。

付録

関連ソフトウエアについて

プリンタに付属する主な関連ソフトウエアは次のとおりです。

GARO Printer Driver（プリンタドライバ）

アプリケーションソフトを使って印刷するときに必要なソフトウエアです。GARO プリンタドライバは、キヤノンが開発している高画質オフィスカラープリンタ、ラージフォーマットプリンタ、グラフィックカラープリンタ等のためのプリンタドライバです。

GARO は Graphic Arts Language with Raster Operations の略称で、ラスタイメージデータを作成するためのプリンタ言語のことです。

GARO Printmonitor（プリントモニタ）

コンピュータからプリンタの状態を表示したり、印刷ジョブの停止や削除を行えるユーティリティです。

印刷ジョブの管理のしかた

印刷ジョブを管理するためには Printmonitor を使います。

Printmonitor は、プリンタの状態やエラー内容を知るステータスモニタの機能も持っています。

ハードディスクの中にある[GARO Printer エクストラ]フォルダを開き、[GARO Printmonitor]アイコンをダブルクリックします。

プリンタ保守機能

本プリンタドライバにはプリンタの保守機能はありません。
プリントヘッドのクリーニングなどの保守機能を使う場合は、プリンタ本体の操作パネルで行います。

インストールのしかた

User Software CD-ROM のインストーラを使ってインストールします。

1　User Software CD-ROM をコンピュータにセットします。

2　インストーラを起動します。

3　メッセージにしたがってインストールします。

メモ

詳しくは、User Software CD-ROM に収められているインストールファイルをご覧ください。

アンインストールのしかた

プリンタドライバをアンインストールするときは、User Software CD-ROM に収められているインストーラを起動します。
インストーラが起動したら、左上のメニューをクリックして［アンインストール］を選び、［アンインストール］ボタンをクリックしてください。

メモ

詳しくは、User Software CD-ROM に収められているインストールファイルをご覧ください。

プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開く

1　アプリケーションソフトの[ファイル]メニューをクリックして[プリント]を選びます。

　プリントダイアログボックスが開きます。

2　[基本設定]や[ページ設定]など設定したいメニューをクリックしてパネルを表示し、必要に応じて設定を行います。

関連項目

プリントダイアログボックスの構成

用紙設定ダイアログボックスを開く

1　アプリケーションソフトの［ファイル］メニューをクリックして［用紙設定］を選びます。

2　［ページ属性］、［用紙設計］の中から設定したいメニューをクリックしてパネルを表示し、必要に応じて設定を行います。

関連項目

用紙設定ダイアログボックスの構成

倍率を指定して拡大/縮小する

アプリケーションソフトで作成した原稿を拡大/縮小して印刷することができます。

1 用紙設定ダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2 [ページ属性]パネルを表示します。

3 [原稿サイズ]のメニューをクリックしてサイズを選びます。

4 [倍率を指定]で倍率を指定します。

矢印ボタンをクリックして倍率を設定するか、直接数値を入力します。

プレビューに拡大または縮小された印刷イメージが表示され、配置や大きさを確認できます。

原稿サイズよりも大きな画像になるように倍率を指定した場合の印刷結果については、アプリケーションソフトやプリントダイアログボックスのプレビューで確認してください。

5 [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

関連項目

用紙サイズを指定して拡大/縮小する

用紙サイズを指定して拡大/縮小する

原稿サイズとは異なるサイズの用紙に拡大または縮小して印刷します。拡大または縮小の倍率は選んだサイズの組み合わせによって自動で決められます。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[ページ設定]パネルを表示します。

3　[出力用紙サイズ]のメニューをクリックし、原稿サイズに対して異なる出力用紙サイズを選択します。

ダイアログボックスを開いた直後の[原稿サイズ]は、アプリケーションソフトで選択された設定が表示されます。

[原稿サイズ]が[出力用紙サイズ]よりも小さいときは、画像を出力用紙サイズに合わせて縦横均等に拡大します。

[原稿サイズ]が[出力用紙サイズ]よりも大きいときは、画像を出力用紙サイズに合わせて縦横均等に縮小します。

メモ

出力用紙サイズを選択した後でサイズを微調整したい場合には、プリントダイアログボックスを閉じて、用紙設定ダイアログボックスを開き、[ページ属性]パネルの[倍率を指定]で拡大または縮小の割合を設定します。

4　[プリント]ボタンをクリックすると、選択した設定で印刷が始まります。

印刷を開始する前に、[出力用紙サイズ]で選択したものに対して正しく用紙がセットされているか確認してください。

関連項目

倍率を指定して拡大/縮小する

自分のスタンプを作成する

プリンタドライバがあらかじめ用意しているスタンプを含めて最大 50 個までスタンプを登録できます。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　［ページ加工］パネルを表示し、［スタンプ］をクリックしてチェックマークを付けます。

3　［スタンプ編集］ボタンをクリックして［スタンプ編集］ダイアログボックスを開きます。

4　［新規追加］ボタンをクリックします。

［新規追加］ボタンをクリックすると、スタンプ名とテキストを入力するダイアログボックスが表示されます。

5　［スタンプ名］にスタンプの名称を全角 15 文字（半角 31 文字）以内で入力します。

6　［テキスト］にスタンプにしたい文字を全角 15 文字（半角 31 文字）以内で入力します。

［テキスト］で入力したものがスタンプとして印刷されます。

7　［登録］ボタンをクリックします。スタンプ名とテキストを入力するダイアログボックスが閉じ、入力した［スタンプ名］と［テキスト］が、［スタンプ編集］ダイアログボックスに表示されます。

8　［フォント］、［スタイル］、［サイズ］、［色］をクリックして設定を選択します。

9　［スタンプを囲む］をクリックしてチェックマークを付け、［丸囲み］または［四角囲み］を選びます。



10 ［印刷方法］として、［透かし印刷］または［重ね印刷］を選びます。

［重ね印刷］を選ぶと、スタンプの下に重なった文字は印刷されるときに見えなくなります。スタンプが大きいときは［透かし印刷］を選ぶと重なった文字も見えるように印刷されます。

11 プレビューの右側と下側のスライドバーを使ってページ内に印刷されているスタンプの位置を設定します。

スタンプが大きすぎる場合は、サイズを変更します。

12 スタンプの位置を中央にしたいときは［中心へ移動］ボタンをクリックします。

13 正確にスタンプの位置を設定したい場合は、［座標］で［X］と［Y］の値を入力します。

14 スタンプに角度をつけたい場合は、次のいずれかの方法で設定します。

［右上がり］または［右下がり］をクリックして 45 度の傾きを設定します。

［自由角度］をクリックして、スライドバーを使ってスタンプを回転させるか、回転の角度を直接入力します。

15 スタンプを先頭ページにだけ印刷したいときは、［先頭ページのみ印刷する］をチェックマークを付けます。

16 ［OK］ボタンをクリックして［ページ加工］パネルに戻ります。

作成したスタンプがプレビューに表示されています。

関連項目

自分のスタンプを編集/削除する

自分のスタンプを編集/削除する

自分で作成したスタンプを編集または削除します。

1　プリントダイアログボックスをアプリケーションソフトから開きます。

2　[ページ加工]パネルを表示し、[スタンプ]をクリックしてチェックマークを付けます。

3　[スタンプ編集]ボタンをクリックして[スタンプ編集]ダイアログボックスを開きます。

4　[スタンプ一覧]から編集または削除したいスタンプの名称をクリックします。

5　スタンプ編集または削除します。

スタンプを編集する

プレビューを見ながら、位置やサイズなど各項目の設定を編集します。

標準で用意されているスタンプの場合でも、[スタンプ名]と[テキスト]以外の設定は編集できます。

自分で作成したスタンプを選択した場合は、[スタンプ名]と[テキスト]も含めて設定はすべて編集できます。

スタンプを削除する

[削除]ボタンをクリックします。

確認メッセージが出たら[OK]をクリックします。

6　[OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

[スタンプ編集]ダイアログボックスで編集を行ったスタンプは保存され、[スタンプ名]は[スタンプ一覧]と[ページ加工]パネルの[スタンプ]のメニューに反映されます。

関連項目

自分のスタンプを作成する

お気に入りとは

［お気に入り］はプリンタドライバ内で選択した設定一式を登録するものです。次回同じ設定で印刷したいときは、登録した［お気に入り］を選択するだけで、簡単にすばやく設定できます。

ICC とは

International Color Consortium の略。ICC カラープロファイルはプリンタやスキャナなどで使用されています。従来、カラープロファイルはカラーマネージメントを専門に行う色校正の専門家やサービスビューロの概念でしたが、デスクトップパブリッシングの世界に ICC プロファイルが導入されたことで、だれもがカラーマネージメントを簡単に行うことができるようになりました。カラープロファイルを使用することによって、画像の読み取り、色校正、仕上げ印刷のすべての工程を通して、一貫した色を調整できるようになります。

ColorSync とは

ColorSync は、印刷結果とモニタの色を一致させようという目的でつくられたものです。ColorSync をプリンタドライバで選択する前にアプリケーションソフトで ColorSync のカラープロファイルが設定されているかどうかを確認してください。

カラーマッチングとは

カラーマッチングとは異なるデバイス間での色再現を合わせる機能です。モニタ、プリンタ、スキャナは異なる色再現範囲(表色域)を持っています。この色再現の管理をすべてのデバイスが別々に扱っているとスクリーン上の色と印刷の色が合わなくなります。正確なカラーマッチングを行うためには色再現の管理をカラープロファイルで扱う必要があります。

表色域（ガモット）とは

デバイスが検知して再現できる色範囲のことを表色域（ガモット）といいます。モニタはプリンタよりも広い表色域を持っているため、より多くの種類の色を表示できます。カラープロファイルは、あるデバイスの表色域を別のデバイスの表色域に(例:モニタの表色域をプリンタの表色域に)割り振ります。

カラープロファイルとは

デバイスがカラーをどのように扱うかということと、表色域（ガモット）においてデバイス間の違いに対する情報を記述したもの。スキャナ、モニタ、プリンタのカラープロファイルを正しく扱えば、それぞれのデバイスの色どうしを補正して、スクリーン上で見える色とプリンタで印刷した色が一致します。

CMM とは

Color Matching Module の略。特性を記述したプロファイルを参照してカラーデータを受け取り、他の色空間に合わせるような色変換方式のことです。

項目ヘルプ

用紙設定ダイアログボックス

[ページ属性]パネル

[用紙設計]パネル

[一覧]パネル

[ページ属性]パネル

[原稿サイズ]

[印刷の向き]

[倍率を指定]

[用紙サイズを表示]ボタン

[用紙イメージを表示]ボタン

用紙設定ダイアログボックス

原稿サイズ

アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズです。

印刷の向き

画像の向きによって次のように設定します。

（縦） 原稿が縦長のレイアウトのときに選択します。

（横） 原稿が横長のレイアウトのときに選択します。

倍率を指定

拡大率または縮小率をパーセントで設定します。

用紙サイズを表示

このボタンをクリックすると、現在設定されている用紙サイズと余白が数値で表示されます。

用紙イメージを表示

このボタンをクリックすると、現在設定されている原稿サイズと印刷の向きおよび倍率に対するイメージが表示されます。

[用紙設計]パネル

[サイズ一覧]

[ユーザ定義用紙名]

[単位]

[用紙サイズ]

[追加]ボタン

[削除]ボタン

サイズ一覧

この一覧は標準サイズとユーザ定義用紙の全てを表示します。名称の左に赤丸が付いたものは、プリンタドライバによってあらかじめ用意されている標準サイズで、編集および削除することはできません。

ユーザ定義用紙名

ユーザが独自に作成する用紙サイズの名称を入力します。

単位

ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位([ミリメートル]または[インチ])を選択します。

用紙サイズ

選択した[単位]で、設定する用紙サイズの[縦]と[横]を入力します。

追加

このボタンは新しく作成または編集したユーザ定義用紙を保存するときにクリックします。

削除

ユーザ定義用紙を削除します。
［サイズ一覧］でユーザが定義した用紙サイズの中から削除したい用紙名称を選び、このボタンをクリックします。

一覧

用紙設定ダイアログボックスの設定値が表示されます。

プリントダイアログボックス

[プリンタ]

[お気に入り]

[出力先]

[プリント]ボタン

[キャンセル]ボタン

[プレビュー]ボタン

[復帰]ボタン

[基本設定]パネル

[ページ設定]パネル

[ページ加工]パネル

[デバイス設定]パネル

[付加設定]パネル

[バージョン情報]パネル

[一覧]パネル

[お気に入りの追加]

[お気に入りの編集]

プリンタ

現在接続されているプリンタ名が表示されます。

お気に入り

このメニューをクリックして［お気に入り］の項目を選ぶと、その［お気に入り］の項目に登録された印刷に対する設定の組み合わせがプリンタドライバに反映され、毎回同じ条件で印刷できます。プリンタドライバにはあらかじめいくつかの［お気に入り］が用意されています。メニューをクリックして［お気に入りの追加］を選ぶと、ユーザ独自の［お気に入り］を登録することができます。
このメニューの中で、左に赤丸が付いた項目は、プリンタドライバにあらかじめ用意されているもので、編集や削除はできません。

出力先

プリンタ

プリンタに印刷を行います。

ファイル

印刷データを PICT ファイルとして保存します。

プリント

各パネルで選択した設定で印刷を開始します。設定した内容は保存され、次回以降、同じ設定で印刷することができます。

キャンセル

印刷せずにプリントダイアログボックスを閉じます。各パネルで選択した設定は、前回の設定に戻ります。

プレビュー

このボタンをクリックすると、現在のプリンタドライバの設定を反映した印刷イメージが表示されます。

復帰

このボタンをクリックすると、すべての項目をダイアログボックスを開いた直後の設定に戻します。

[基本設定]パネル

[ページ]

[部数]

[部単位で印刷]

[逆順で印刷]

[用紙の種類]

[給紙方法]

[印刷品質]

[設定]ボタン

・[印刷品質(ユーザ設定)]

・[解像度]

・[中間調]

[カラーモード]

[設定]ボタン

[マッチング]シート

・[マッチングモード]

・[入力プロファイル設定]

・[入力プロファイル]

・[マッチング方法(ドライバ補正モード)]

・[図形の色を鮮やかに印刷する]

・[マッチング方法(ICC 補正モード)]

・[プリンタプロファイル設定]



［調整］シート

・［調整の対象］ボタン

・［調整後の画像］

・［元の画像］

・［カラーバランス］

・［調整後の位置］

・［明るさ］

・［コントラスト］

［プリンタ情報］ボタン

・［インク残量］

・［給紙情報］

ページ

[全ページ]をクリックすると、すべてのページが印刷されます。
印刷するページ範囲を指定する場合は、数値を直接入力するか、矢印ボタンをクリックして範囲を指定します。

部数

数値を直接入力するか、矢印ボタンをクリックして印刷する部数を設定します。
複数部数の文書を印刷するときに、通常はページごとに指定された部数分ずつ(1,1,1…2,2,2…)印刷されます。

部単位で印刷

チェックマークを付けると、先頭ページから最終ページまで各部ごとに(1,2,3…1,2,3…)1組にして印刷されます。
部数を複数に設定すると、[部単位で印刷]を選べるようになります。

逆順で印刷

チェックマークを付けると、最終ページから印刷され、印刷した順に印刷面が上の状態で先頭ページが一番上になるように排紙トレイに積載されます。この機能を設定しないと、先頭ページが一番下になるように排紙トレイに積載されます。

メモ

アプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタドライバの機能ではなくアプリケーションソフトの機能をお使いください。

用紙の種類

このメニューをクリックして、印刷時に使用する用紙を選びます。選んだ[用紙の種類]は、印刷時に選択した給紙元にセットされている用紙の種類と一致していなければなりません。[用紙の種類]を変更すると、他の設定([印刷品質]、[解像度]など)も印刷に最適な条件になるように自動的に設定が変更されます。

給紙方法

このメニューをクリックして、給紙方法を選択します。選んだ[給紙方法]に[用紙の種類]で選択した用紙がセットされているか確認してください。給紙方法を選ぶと、プレビューにその設定が反映されます。

メモ

用紙の種類によって選択可能な給紙方法は異なります。

印刷品質

このメニューをクリックして、印刷品質のレベルを選択します。

きれい

プレゼンテーション資料など、グラフィックスを多く含むデータに適しています。[標準]よりも印刷時間が長くかかります。

標準

一般的なビジネス文書など、文字中心のデータに適しています。[きれい]よりも速く印刷されます。

ユーザ設定

品質と中間調を選ぶことができます。ユーザ設定を選択し、[設定]ボタンをクリックして[ユーザ設定]ダイアログボックスが開きます。

メモ

選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

設定

［印刷品質］で［ユーザ設定］を選んだ後、このボタンをクリックすると、［ユーザ設定］ダイアログボックスが開きます。

印刷品質（ユーザ設定）

このメニューをクリックして、印刷品質と印刷速度とのバランスの組み合わせを選びます。

最高

最高の品質で印刷します。印刷時間が最も長くかかります。

きれい

プレゼンテーション資料など、グラフィックスを多く含むデータに適しています。［標準］よりも印刷時間が長くかかります。

標準

一般的なビジネス文書など、文字中心のデータに適しています。［きれい］よりも速く印刷されます。

速い

最も速い速度で印刷します。

メモ

選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

解像度

このメニューをクリックして印刷時の解像度のレベルを選びます。

ファイン

解像度が高く印刷速度が遅くなります。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。
- 本プリンタではファインのみ選択できます。

中間調

このメニューをクリックして印刷する文書の種類に対して適した設定をします。

ディザパターン

固定パターンの中にピクセルを配置します。ビジネス文書のチャートやグラフに適しており、色の境界をくっきり出します。

誤差拡散

不規則にピクセルを配置します。写真やグラデーションの表現が要求されるグラフィックスに適します。

メモ

選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

カラーモード

［カラー］または［モノクロ］を選び、クリックします。

カラー

カラー印刷を有効にします。

モノクロ

カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。

設定

［カラー］または［モノクロ］を選んだ後で、このボタンをクリックすると［色設定］ダイアログボックスが開きます。カラーマッチング、カラーバランスを調整したり、カラーまたはモノクロにおいて写真を印刷するために特別な設定を選択できます。

マッチングモード

このメニューをクリックしてマッチングモードを選びます。

ドライバ補正モード

ドライバ独自のカラーマッチングを行います。

ICC 補正モード

ColorGearLite を使用して入出力プロファイルを使用します。

ColorSync モード

Mac OS に用意されている CMM を使用してカラーマッチングを行います。システムプロファイルとして設定されているプロファイルが入力プロファイルとして使用されます。

補正しない

カラーマッチングを実行しません。

メモ

選んだマッチングモードによって、設定できる項目が変わります。

入力プロファイル設定

チェックマークを付けると、[イメージ]に対するプロファイルを[グラフィックス]と[テキスト]に対しても適用します。チェックマークをはずすと、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]のそれぞれに異なる入力プロファイルを設定できます。

メモ

この機能は[マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選んだ場合のみ有効です。

入力プロファイル

このメニューをクリックしてデータの処理に使用する入力プロファイルを選びます。

マッチング方法（ドライバ補正モード）

このメニューをクリックして設定を選びます。選択した［マッチングモード］によって設定できる項目が異なります。

自動

［イメージ］、［グラフィックス］、［テキスト］にそれぞれ最適なカラーマッチングを行います。この項目は［ドライバ補正モード］でのみ設定できます。

色み優先

色合いを優先してカラーマッチングを行います。

鮮やかさ優先

鮮やかさを優先してカラーマッチングを行います。

色差最小

プリンタの色再現範囲内で、測定上の色差が小さくなるようにします。

図形の色を鮮やかに印刷する

クリックしてチェックマークを付けると、図形の色味を鮮やかに印刷することができます。

メモ

この機能は、［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］を選択した後、［マッチング方法］で［自動］を選んだ場合にのみ使用できます。

マッチング方法（ICC 補正モード）

このメニューをクリックして設定を選びます。選択した［マッチングモード］によって設定できる項目が異なります。

色み優先

色合いを優先してカラーマッチングを行います。

鮮やかさ優先

鮮やかさを優先してカラーマッチングを行います。

色差最小

プリンタの色再現範囲内で、測定上の色差が小さくなるようにします。

色差最小（白色点補正なし）

カラーマッチングの処理は色差最小と同じですが、白色点補正はしません。

この項目は［ドライバ補正モード］では設定できません。

プリンタプロファイル設定

このメニューをクリックして、カラーマッチングで使用するプリンタプロファイルを指定します。

メモ

プリンタプロファイルが選べるのは、[ICC 補正モード]または[ColorSync モード]を選んだ場合のみです。

調整の対象

このボタンをクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開きます。[調整の対象]ダイアログボックスで、色の調整をどの種類の印刷データに対して行うかを選択します。この設定により、1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合は、それぞれに調整を行うかどうかを設定できます。

調整後の画像

選択されている設定内容を反映しています。

元の画像

色調整を行う前の元画像の色を示しています。

カラーバランス

調整領域の周囲にある各色のボタンをクリックすると、クリックした色を 1 段階ずつ強くすることができます。また、調整領域内の希望する色をクリックしたり、中央にあるプレビューボタンを目的の位置までドラッグさせて調整することもできます。カラーは基本的にアプリケーションソフトの中で調整されるのが一般的で、プリンタドライバのカラー調整は補助的に使ってください。

メモ

- この機能は［基本設定］パネルの［カラーモード］に［モノクロ］が選択されているときには使えません。
- ［マッチング］シートの［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］、［ICC 補正モード］、［補正しない］が選択されている場合のみ有効です。

調整後の位置

調整領域の中央にあるプレビューボタンは、行った調整に応じて移動します。調整後のプレビューボタンがどの位置にあるかを X(横方向)、Y(縦方向) で表示します。中心の位置は、X: 0、Y: 0 です。

明るさ

スライドバーを左右にドラッグして、印刷結果の明るさを調整します。原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど）に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。［調整後の画像］のイメージで調整した結果を確認できます。

メモ

［マッチング］シートの［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］、［ICC 補正モード］、［補正しない］が選択されている場合のみ有効です。

コントラスト

スライドバーを左右にドラッグして、印刷結果を暗くしたり明るくしたりします。コントラストは最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整します。［調整後の画像］のイメージで調整した結果を確認できます。

メモ

［マッチング］シートの［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］、［ICC 補正モード］、［補正しない］が選択されている場合のみ有効です。

プリンタ情報

このボタンをクリックすると[プリンタ情報]ダイアログボックスが開き、[インク残量]、[給紙情報]を取得して表示します。

インク残量

プリンタの各色のインクの量を表示します。

:インク残量が少なくなっています。

:インクがありません。

:プリンタからの情報が取得できません。

給紙情報

給紙部の名称と給紙部に入っている用紙のサイズ、用紙の種類、用紙の残量を表示します。

[ページ設定]パネル

- [原稿サイズ]
- [出力用紙サイズ]
- [用紙サイズを表示]ボタン
- [用紙イメージを表示]ボタン
- [ページレイアウト]
- [レイアウトの方向]
- [枠線]
- [出力ページの指定]

原稿サイズ

アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズです。
用紙設定ダイアログボックスで設定した用紙サイズが表示されます。

出力用紙サイズ

[出力用紙サイズ]は実際にプリンタにセットされている用紙サイズのことで、通常は[原稿サイズと同じ]に設定されています。
[原稿サイズ]が[出力用紙サイズ]よりも小さいときは、画像を出力用紙サイズに合わせて縦横均等に拡大します。
[原稿サイズ]が[出力用紙サイズ]よりも大きいときは、画像を出力用紙サイズに合わせて縦横均等に縮小します。

用紙サイズを表示

このボタンをクリックすると、現在設定されている用紙サイズと余白が数値で表示されます。

用紙イメージを表示

このボタンをクリックすると、現在設定されている原稿サイズと印刷の向きおよび倍率に対するイメージが表示されます。
また、[基本設定]パネルの[カラーモード](スタンプイメージのみ)、[ページ設定]パネルの[ページレイアウト]、[レイアウトの方向]、[枠線]および[ページ加工]パネルの[鏡像]、[180 度回転]、[スタンプ]の設定内容もイメージに反映されます。

ページレイアウト

このメニューをクリックして印刷したいページレイアウトを選択します。

N ページ/枚

用紙 1 枚に対し N ページ分を印刷します。

ポスター 2×2

1 ページを縦横 2 枚ずつ(計 4 枚)の用紙に印刷します。

ポスター 3×3

1 ページを縦横 3 枚ずつ(計 9 枚)の用紙に印刷します。

ポスター 4×4

1 ページを縦横 4 枚ずつ(計 16 枚)の用紙に印刷します。

レイアウトの方向

このメニューをクリックするとページの配列順を選ぶことができます。プレビューのイメージで設定した結果を確定できます。

枠線

このメニューをクリックして、配置したページの境界線を選ぶことができます。

出力ページの指定

［ページレイアウト］でポスターを選択すると、［出力ページの指定］が設定可能となります。［出力ページの指定］には、プレビューの中の各パネル番号のチェックボックスがあります。あらかじめチェックマークが入っており、すべてのパネルが印刷される設定になっています。印刷しないパネルについては、クリックしてチェックマークをはずします。印刷されないように設定されているパネルはプレビューには表示されません。

［ページ設定］パネル

［ページ加工］パネル

［鏡像］

［180 度回転］

［スタンプ］

［スタンプ編集］ボタン

・［座標］

・［中心へ移動］ボタン

・［角度］

・［スタンプ一覧］

・［新規追加］ボタン

・［削除］ボタン

・［スタンプ名］

・［テキスト］

・［フォント］

・［スタイル］

・［サイズ］

・［色］

・［スタンプを囲む］

・［印刷方法］

・［先頭ページのみ印刷する］

［用紙サイズを表示］ボタン

［用紙イメージを表示］ボタン

プリントダイアログボックス

鏡像

チェックマークを付けると、鏡に写したように画像を反転して印刷します。

180 度回転

チェックマークを付けると、画像を 180 度回転して印刷します。

スタンプ

クリックしてチェックマークを付けると、[スタンプ]のメニューと[スタンプ編集]ボタンが有効になります。[スタンプ]のメニューをクリックしてスタンプ印刷したいスタンプ名を選択します。また、[スタンプ編集]ボタンをクリックして[スタンプ編集]ダイアログボックスを開くと、スタンプの編集、追加、削除ができます。

スタンプ編集

このボタンをクリックして、[スタンプ編集]ダイアログボックスを開きます。[スタンプ編集]ボタンは、[スタンプ]をクリックしてチェックマークを付けると有効になります。

座標

スタンプの位置を設定します。

［X］［Y］

-50 ～ +50 の範囲で、［X］（横方向）、［Y］（縦方向）の数値を入力し、スタンプ位置を指定します。［X］、［Y］ともに 0 を指定するとスタンプは用紙中央に配置されます。

中心へ移動

このボタンをクリックすると、スタンプの位置を用紙中央に移動します。

角度

スタンプの角度を設定します。

［右上がり］

スタンプが右上がりになるように印字します。

［右下がり］

スタンプが右下がりになるように印字します。

［自由角度］

［自由角度］をクリックして、角度を数値で設定します。＋数値で右回りに（時計回り）、－数値で左回りに（逆時計回り）回転します。 0 を指定するとスタンプは水平になります。

スライドバー

［自由角度］をクリックするとスライドバーが有効になります。0 より右方向にスライドさせると右回り（時計回り）、左方向にスライドさせると左回り（逆時計回り）に回転します。

0 でスタンプは平行になります。

スタンプ一覧

登録されているスタンプの一覧を表示します。

新規追加

［スタンプ編集］ダイアログボックスで設定した内容を新しいスタンプとして登録するときにこのボタンをクリックします。ドライバにあらかじめ用意されているスタンプも含めて50個まで登録することができます。
このボタンをクリックするとスタンプ名、テキストを入力するためのダイアログが開きます。

削除

削除したいスタンプを［スタンプ一覧］から選択し、このボタンをクリックします。プリンタドライバにあらかじめ用意されているスタンプは削除できません。

スタンプ名

［スタンプ一覧］および［ページ加工］パネルの［スタンプ］のメニューに表示するスタンプ名を入力します。

テキスト

スタンプとして印刷したい文字を入力します。

フォント

このメニューをクリックしてスタンプとして印刷する文字列のフォントを選びます。

スタイル

このメニューをクリックしてスタンプとして印刷する文字列のスタイルを選びます。

サイズ

スタンプとして印刷する文字列のフォントサイズを設定します。

色

このメニューをクリックして印刷する文字列の色を選びます。

スタンプを囲む

クリックしてチェックマークを付けると、スタンプに囲み枠を付けることができます。
［丸囲み］または［四角囲み］を選ぶことができます。

印刷方法

スタンプの[印刷方法]を設定します。

[透かし印刷]

文字や画像の背面にスタンプを印刷します。

[重ね印刷]

文字や画像の前面にスタンプを印刷します。

先頭ページのみ印刷する

クリックしてチェックマークを付けると、先頭ページにのみスタンプを印刷します。
これを設定しないと、全ページにスタンプが印刷されます。

用紙サイズを表示

このボタンをクリックすると、現在設定されている用紙サイズと余白が数値で表示されます。

用紙イメージを表示

このボタンをクリックすると、現在設定されている原稿サイズと印刷の向きおよび倍率に対するイメージが表示されます。
また、[基本設定]パネルの[カラーモード](スタンプイメージのみ)、[ページ設定]パネルの[ページレイアウト]、[レイアウトの方向]、[枠線]および[ページ加工]パネルの[鏡像]、[180 度回転]、[スタンプ]の設定内容もイメージに反映されます。

[デバイス設定]パネル

[インク乾燥時間]

[キャリブレーション]

[設定]ボタン

・[調整値取得]ボタン

[プリンタ情報]ボタン

・[インク残量]

・[給紙情報]

インク乾燥時間

印刷後に積載されているページの印刷面のインクを乾燥させるために、出力紙を排出する時間を長く設定することができます。連続で複数ページ印刷しているときに、ページどうしの重なりによるインク付着が発生した場合に設定します。
この設定は用紙の種類が普通紙、はがき、高速乾燥 OHP フィルムのときのみ適用されます。

標準

標準的な待ち時間の範囲で自動制御します。

長く

[標準]よりも長く待ちます。

最も長く

[長く]よりもさらに長く待ちます。

なし

インク乾燥のための待ち時間をなくします。

キャリブレーション

全体的に赤みが強かったり、グラデーションがきれいに印刷されないときなど、思ったような色で印刷されない場合、色味を調整するためにインク吐出量を調整する機能です。
［設定］ボタンをクリックし、手順に従って設定してください。

設定

このボタンをクリックすると、キャリブレーションの調整値を取得する為のダイアログボックスが表示されます。

調整値取得

このボタンをクリックすると、プリンタ本体で設定したキャリブレーションの調整値を取得し、プリンタドライバの設定に反映します。

プリンタ情報

このボタンをクリックすると[プリンタ情報]ダイアログボックスが開き、[インク残量]、[給紙情報]を取得して表示します。

インク残量

プリンタの各色のインクの量を表示します。

:インク残量が少なくなっています。

:インクがありません。

:プリンタからの情報が取得できません。

給紙情報

給紙部の名称と給紙部に入っている用紙のサイズ、用紙の種類、用紙の残量を表示します。

［付加設定］パネル

［バックグラウンドプリント］

［データ送信方法］

［印刷終了の通知方法］

［プリンタ情報］ボタン

・［インク残量］

・［給紙情報］

バックグラウンドプリント

オンまたはオフを選択することで、フォアグラウンド印刷とバックグラウンド印刷の切り替えを行います。

データ送信方法

データの送信方法を設定します。[印刷データをすぐにプリンタに送る]か[全ページ分の印刷データを一括でプリンタに送る]かを選択します。

メモ

複雑なデータを印刷した場合、印字ヘッドが停止しながら印刷が行われ、印刷画像が色むらになったり、プリンタに対してデータ送信がしばらく行われないため、プリンタで通信タイムアウトが発生する場合があります。
[全ページ分の印刷データを一括でプリンタに送る]を選択して印刷を行うと、印刷データを全て作成後プリンタにデータを送信するため、上記現象が回避されます。

印刷終了の通知方法

ビープ音を鳴らす

チェックマークを付けると、メニューで選択している音を鳴らして印刷が終了したことを通知します。

ダイアログを表示する

チェックマークを付けると、ダイアログを表示して印刷が終了したことを通知します。

プリンタ情報

このボタンをクリックすると[プリンタ情報]ダイアログボックスが開き、[インク残量]、[給紙情報]を取得して表示します。

インク残量

プリンタの各色のインクの量を表示します。

- :インク残量が少なくなっています。
- :インクがありません。
- :プリンタからの情報が取得できません。

給紙情報

給紙部の名称と給紙部に入っている用紙のサイズ、用紙の種類、用紙の残量を表示します。

[バージョン情報]パネル

[バージョン情報]

[詳細情報]ボタン

・[テキストに保存]ボタン

バージョン情報

プリンタドライバの名称とバージョン情報が表示されます。

詳細情報

このボタンをクリックすると、モジュールごとにバージョンと日付情報が表示されるダイアログボックスが表示されます。

テキストに保存

このボタンをクリックして、バージョン詳細情報をテキストとして保存することができます。

一覧

プリントダイアログボックスの設定値が表示されます。

［お気に入りの追加］

［お気に入りの追加］

［名称］

［コメント］

お気に入りの追加

メニューをクリックして[お気に入りの追加]を選ぶとダイアログボックスが開き、ユーザ独自の設定を[お気に入り]に登録できます。

名称

新しいお気に入りの名称を入力します。ここで入力した名称が[お気に入り]のメニューの中に表示されます。

コメント

お気に入りの目的を表わす説明を入力します。

［お気に入りの編集］

［お気に入りの編集］

［お気に入り一覧］

［（入れ替え）ボタン］

［名称］

［コメント］

［削除］ボタン

［ファイル読み込み］ボタン

［ファイル保存］ボタン

プリントダイアログボックス

お気に入りの編集

メニューをクリックして[お気に入りの編集]を選ぶとダイアログボックスが開き、お気に入りを編集することができます。[お気に入り一覧]の中で、左に赤丸が付いた[お気に入り]の項目は、プリンタドライバにあらかじめ用意されているものなので、名称の編集や削除はできません。

お気に入り一覧

この一覧の中には、プリンタドライバにあらかじめ用意されている[お気に入り]の項目とユーザが登録した[お気に入り]の項目が表示されます。[お気に入り一覧]の中で、左に赤丸が付いた[お気に入り]の項目は、プリンタドライバにあらかじめ用意されているものなので、名称の編集や削除はできません。

:

(入れ替え)ボタン

[お気に入り一覧]での[お気に入り]の項目の表示順を変更します。移動したい[お気に入り]の項目を選び、このボタンをクリックすると 1 つずつ上または下に移動します。以後、プリンタダイアログを開くと、先頭に置いたお気に入りの設定が表示されます。

名称

［お気に入り一覧］の中からユーザが登録した［お気に入り］の項目を選ぶと、［名称］に選んだお気に入りの名称が入力され、必要に応じて編集することができます。
［お気に入り一覧］の中で、左に赤丸が付いた［お気に入り］の項目は、プリンタドライバにあらかじめ用意されているものなので、名称の編集はできません。

コメント

［お気に入り一覧］からユーザが独自に登録した［お気に入り］の項目を選ぶと、［コメント］に説明を入力することができます。
［お気に入り一覧］の中で、左に赤丸が付いた［お気に入り］の項目は、プリンタドライバにあらかじめ用意されているものなので、コメントの編集はできません。

削除

お気に入りを削除します。［お気に入り一覧］で、ユーザが登録したお気に入りの中から削除したい項目を選び、このボタンをクリックします。

ファイル読み込み

このボタンをクリックして[お気に入り]ファイルを読み込みます。

ファイル保存

このボタンをクリックしてユーザが独自に登録した[お気に入り]ファイルを保存します。

Printmonitor

プリンタ状態表示

プリンタの状態の概略がメッセージで表示されます。

プリンタ状態グラフィック表示

プリンタのエラー状態や待機状態が絵で表示されます。

メッセージ詳細表示

プリンタの状態について詳細がメッセージで表示されます。

[印刷ジョブ]シート

印刷処理中や印刷待ちジョブの情報が一覧に表示されます。
ボタン操作によりジョブの中止操作が行えます。

 印刷停止ボタン

選択したジョブを一時停止します。印刷データはそのまま保持されます。

 印刷再開ボタン

停止中のジョブを再開します。

 印刷中止ボタン

印刷中または印刷待ちの状態でこのボタンをクリックすると、印刷処理を中止してジョブが削除されます。
また、印刷データを送信中にこのボタンをクリックすると、送信中のジョブを一時停止します。印刷データはそのまま保持され、停止したジョブは送信待ちの状態になります。
送信中のジョブをキャンセルした場合、送信待ちの先頭に戻り、プリントキューが停止状態となります。



 リモート UI 起動ボタン

リモート UI は、ネットワーク接続されているプリンタのネットワーク情報の設定、プリンタの状態表示、印刷ジョブの停止や削除、印刷履歴の表示が行える Web ブラウザアプリケーションソフトウェアです。
リモート UI をお使いになる場合は、プリンタに IP アドレスを設定しておく必要があります。ローカル接続のプリンタではお使いになれません。

モニタステータス表示

Printmonitor の処理状態が表示されます。ジョブの印刷中は進行状況が%で表示されます。

[ファイル]メニュー

[開く]

Printmonitor を開きます。

[閉じる]

Printmonitor を閉じます。

[プリントキュー停止]

現在実行している印刷処理を停止します。

[プリントキュー再開]

現在停止している印刷処理を再開します。

[ファイルをプリント]

プリンタドライバで[出力先]を[ファイル]として保存した PICT ファイルを印刷します。

[初期設定]

初期設定ダイアログを開きます。ここではプリンタを監視する時間の間隔を設定できます。

ネットワーク接続の場合、Printmonitor はプリンタからのイベントで動作するため、設定した間隔時間は反映されません。

[終了]

Printmonitor を終了します。

[プリンタ]メニュー

プリンタリスト

監視可能なプリンタ名が表示されています。

[監視プリンタを検索]

ネットワーク上で監視可能なプリンタを検索し、プリンタリストに追加します。

[プリンタ情報を取得]

監視中のプリンタの情報を表示します。

[デフォルト値にする]

現在監視中のプリンタを、次回 Printmonitor 起動時の監視プリンタとして設定します。

セレクタ

ドライバリスト

ゾーンリスト

［出力先の選択］

機器リスト

［設定］ボタン

・［アプリケーション解像度］

・［パネル表示］

・［プリンタ情報］ボタン

［AppleTalk］

ドライバリスト

インストールされているドライバのアイコンが表示されます。
使用するドライバを選択すると、機器リストに使用可能な機器名が表示されます。

ゾーンリスト

ネットワークにゾーンが設定されている場合のみ表示されます。
使用するゾーン名を選択すると、そのゾーンで使用可能な機器名が機器リストに表示されます。

出力先の選択

プリンタの接続ポートを選択します。

AppleTalk

ネットワーク経由で接続している場合に選択します。

USB

USB ポートに接続している場合に選択します。

機器リスト

ドライバリストやゾーンリスト、[出力先の選択]で選択したドライバおよび接続先で使用可能な機器名の一覧が表示されます。
使用する機器名をクリックして選択します。

設定

オプション項目を設定できます。

セレクタ

アプリケーション解像度

アプリケーションが画像イメージを作成するときの解像度を設定します。

高解像度

通常はこの解像度を選択します。

標準

アプリケーションソフトでメモリ不足が起こる場合などで、プリンタの解像度を落として使用するときに選択します。

メモ

標準に設定すると印字品質が低下します。

パネル表示

パソコンのユーザ名を入力します。ユーザ名は、半角英数字、半角記号で 16 文字まで入力可能です。印刷中は、このユーザ名がプリンタのディスプレイや Printmonitor、リモート UI に表示されます。

セレクタ

プリンタ情報

このボタンをクリックすると[プリンタ情報]ダイアログボックスが開き、[インク残量]、[給紙情報]を表示します。

インク残量

プリンタの各色のインクの量を表示します。

:インク残量が少なくなっています。

:インクがありません。

:プリンタからの情報が取得できません。

給紙情報

給紙部の名称と給紙部に入っている用紙のサイズ、用紙の種類、用紙の残量を表示します。

AppleTalk

ネットワークの使用を設定します。

本プリンタを使用する場合は、常に[オン]を選択してください。

セレクタ